

2in1 シリーズ向け パソコン選定 + 高速な構成例

01 推奨スペックと 必須ソフトウェア

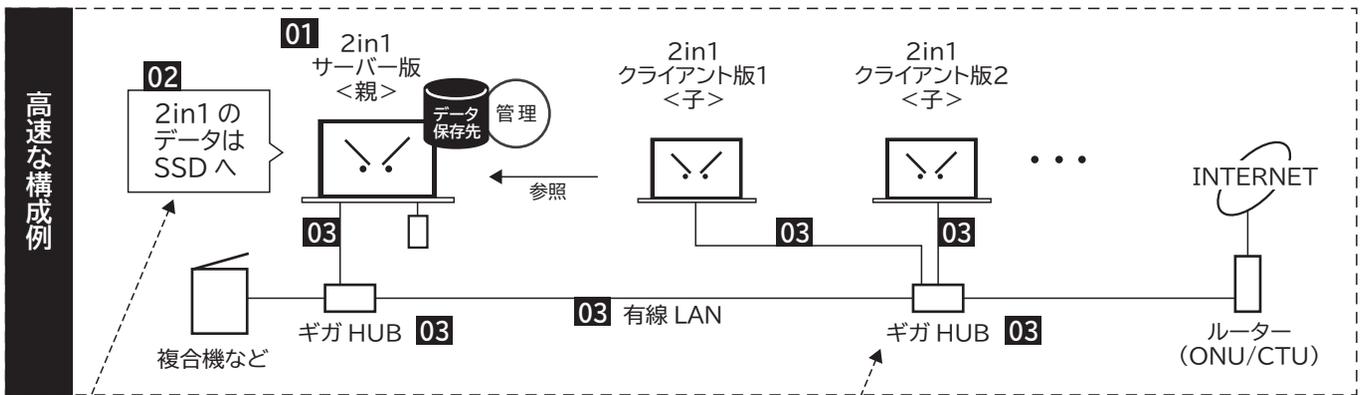


快適にご利用いただくために SSD 搭載PCと有線 LAN の準備をお願いします。※NAS は低速なため非推奨とさせていただきます。

2in1 のライセンス数 (LC) ▶ スタンドアロン～ネットワーク 14LC 程度の規模で利用するサーバーおよびクライアント PC (例：不動産5、請求2の場合は5)

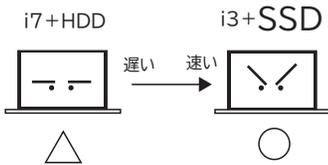
15LC 以上はデータ保存用に別途WindowsServerが必要 ※Win10/11の共有制限が20のため(2in1の制限ではありません)

	Windows11	WindowsServer2019/2022/2025
① CPU	Core i3-10100 以上 ※AMDは Ryzen3-3200 以上	Xeon E-2314 以上 ※Storageは Core i3-10100以上
② メモリ	16GB 以上	16GB 以上 ※Storageは 8GB以上
③ ディスク (内蔵記憶装置)	SSD 必須 256GB 以上 ※ WindowsServerもSSD必須★	※ 空き容量50GB以上 ※ 土地家屋調査士版は80GB以上推奨
④ バックアップディスク (外部記憶装置)	1TB 以上	※ USB ポータブル推奨 ※ Windows バックアップ利用時は2TB以上を推奨
⑩ Microsoft Office ※ 永続 / サブスク何れか必須	永続版 Home 2024 以上 サブスク版 365 Personal 以上	※ファイルサーバーで運用する PC は不要
⑪ Adobe Acrobat ※Readerではなく有償版 電子定款のPDF署名で利用	永続版 Standard 2020 32bit版 サブスク版 Standard DC 32bit版	▲Acrobat 2024 は64bit 専用のためご利用いただけません ※ファイルサーバーで運用する PC は不要 ※何れも Pro は不要です



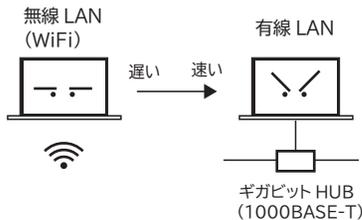
02 2in1 のデータは SSD に保存

Core i7+HDD より Core i3+SSD の方が高速



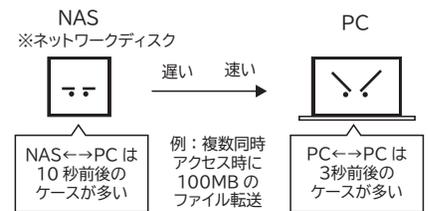
03 有線 LAN + ギガビット HUB (ハブ)

無線 LAN は有線 LAN へ 10/100 HUB はギガ HUB に交換



04 NAS が低速な場合 PC に保存先を変更

特に複数同時アクセス時、NAS は PC より低速になる



Point 初期設定のポイント ※ ローカルACやPC名変更など

P01：初回起動時にローカルアカウント (例 :owner) を作成

①箱出し直後に LAN ケーブルを「接続せず」起動 → ②Shift+F10 「CD oobe<enter>」 → ③「bypassnro<enter>」ですすめます

P02：わかりやすいようにPC名を「初回起動直後」に変更

「DESKTOP-XXXXX」より「sv」など単純かつ明確な名称をお勧めします。但し「共有フォルダ 設定済」のPC名を変更すると複合機側の「スキャン to PC」機能や 2in1 が起動できなくなります。

P03：バックアップの設定

USB接続のHDDやSSD、NASなど空き容量100GB以上を目安にご用意ください。モバイル PC は超小型 USB メモリ、SD カードでも構いません (但し低速) 空き容量が1TB以上の場合、PCを丸ごとバックアップも可能です。